

2016年度 社会力の検証（全学の学年推移）

－ マイステップのリエゾンポートフォリオ「社会人基礎力判定」のデータを活用した検証 －

FD 委員会、IR センター

本学は、『行学一如』の精神と『自利・利他円満』の理念を基に、「人間力、社会力をもつ人材」を育成している。他方、社会人基礎力は「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」である。社会人基礎力は、社会力の一部であり、社会人の前段階にある大学生で培うことが望まれている社会力である。

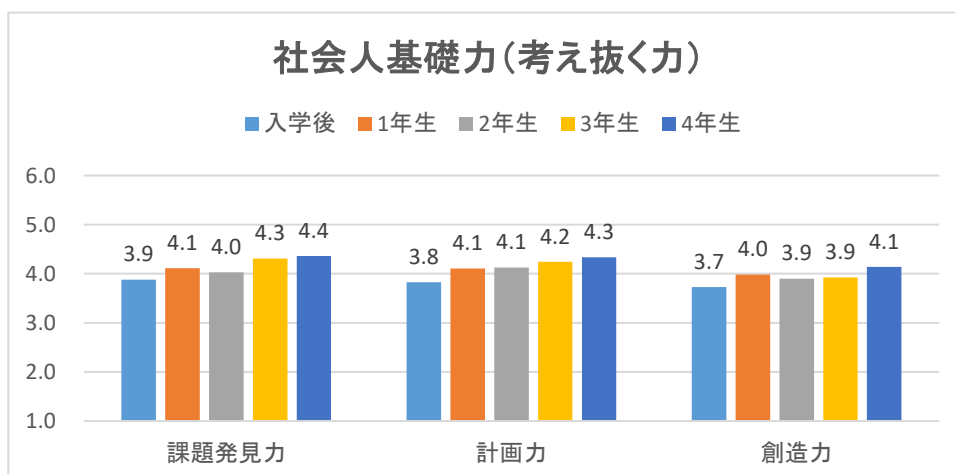
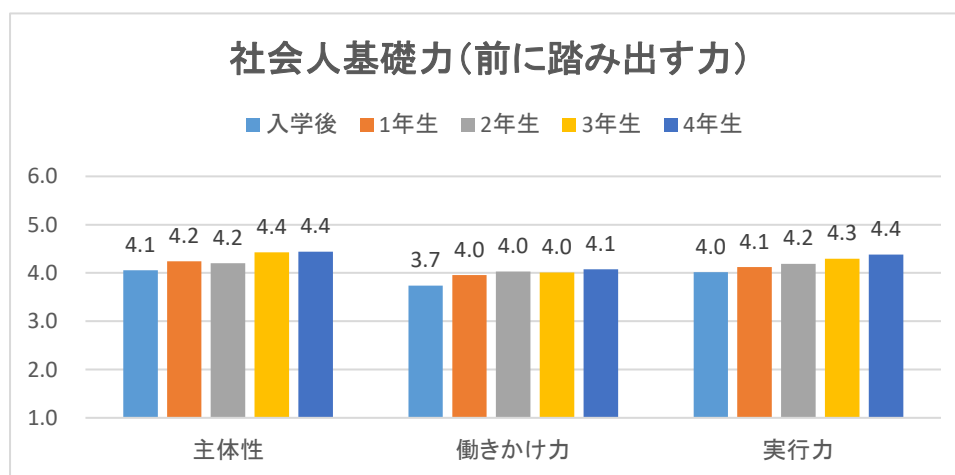
1. 学年ごとの回答者数

学年	人数	%
入学後	1027	69.2
1年生	757	51.0
2年生	126	8.8
3年生	91	6.9
4年生	107	7.8

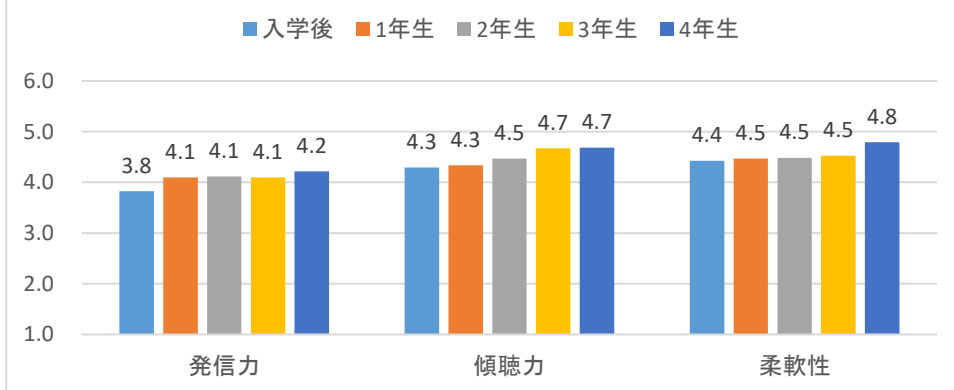
注 1) %は、学年の全学生数における割合 注 2) 入学後は6月末までのデータ。1年生～4年生は11月後半以降のデータ。

2. 社会人基礎力の学年ごとの推移

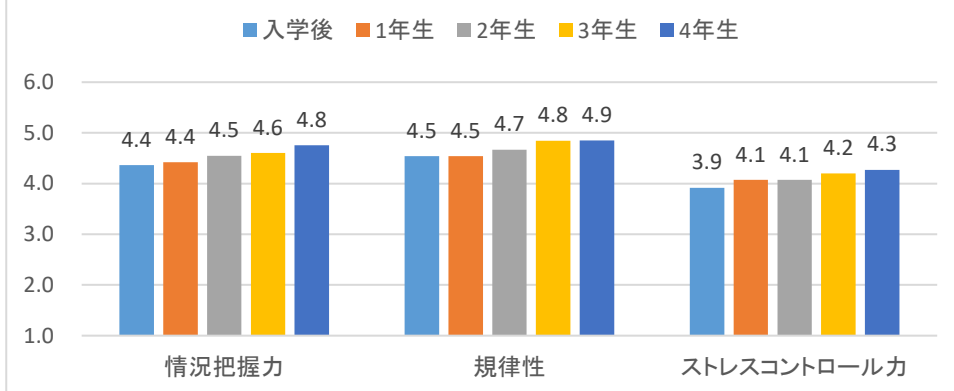
※選択肢は、1.全くそう思わない～6.非常にそう思うの6件法。



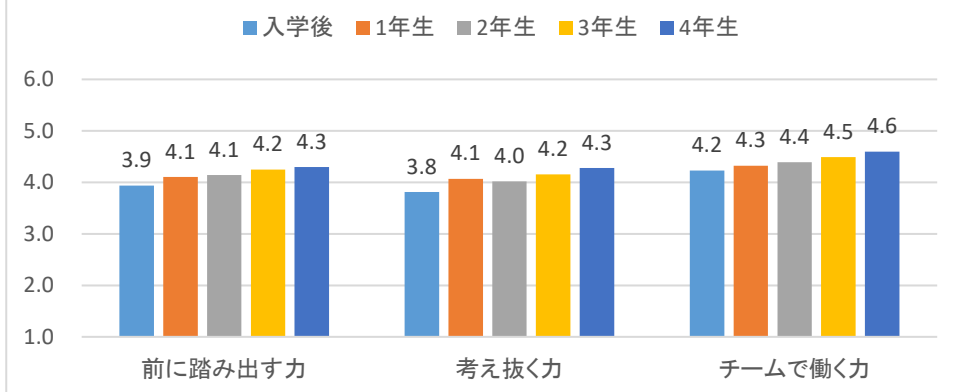
社会人基礎力(チームで働く力)



社会人基礎力(チームで働く力)



社会人基礎力(3つの能力)



【まとめ】

いずれの項目も、学年が上がるごとに高くなっていることが示され、本学の教育により社会力が高まることが示された。ただ、その中でも、働きかける力、創造力、発信力が、2年生～3年生で横ばいとなっており、2年生・3年生における課題と思われた。

「社会人基礎力」とは



▶ 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

<3つの能力 / 12の能力要素>

前に踏み出す力 (アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



- 主体性
物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力
他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力
目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



- 課題発見力
現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力
新しい価値を生み出す力

チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



- 発信力
自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力
相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性
意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性
社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力
ストレスの発生源に対応する力